



## 今日のトピック 3万ドル乗せとなったダウ工業株30種平均 ニューノーマル化の流れの中、景気拡大期待が強まる

### ポイント1 史上初の3万ドル乗せとなったNYダウ ワクチンと経済回復への期待が強まる

- 24日の米国株式市場は、S&P500種指数が前日比+1.62%、ダウ工業株30種平均（NYダウ）が同+1.54%、NASDAQ総合指数が同+1.31%と堅調に推移しました。S&P500種指数は再び史上最高値を更新し、NYダウも最高値を再び更新し、3万46.24ドルと初の3万ドル乗せとなりました。NYダウはコロナ禍の中、ハイテク株主導の上昇に追従できていませんでした。ここにきて、NYダウが上昇しているのは、ワクチンの開発と使用にめどが立ち始めたことや、政権移行がスムーズに進むことで経済回復への期待が一段と高まったことなどが背景です。

### ポイント2 出遅れたセクターが堅調 引き続き堅調なセクターも

- 景気回復期待の強まりは、セクターの動きからも確認できます。航空や建設機械などを取り扱う「資本財・サービス」は2～3月の大幅調整以後、「情報技術」などに比べて出遅れていましたが、足元で大きくリバウンドし、24日に史上最高値を更新しました。「素材」も最高値を更新しました。いずれも、好景気に強いセクターです。ただ、特徴的な点は、コロナ禍で堅調だった「コミュニケーション・サービス」も2002年以降の高値を更新したことです。「コミュニケーション・サービス」にはGoogleやYouTubeを傘下に持つアルファベットや、ツイッターなどが含まれます。ニューノーマル化の流れが続く中で景気拡大が強まっている、と考えられます。

### 今後の展開 バリュー、グロス株共に堅調に推移

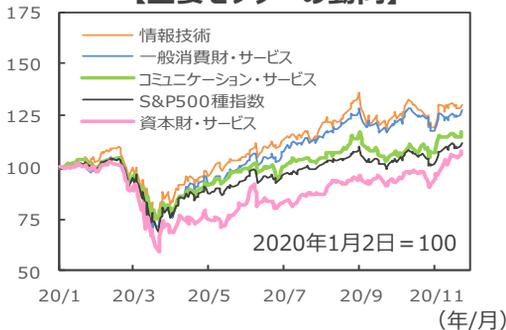
- 米国株式市場は、コロナ対策への期待が維持されそうです。流動性も引き続き潤沢なことから、景気敏感セクターやバリュー株が堅調に推移すると考えられます。もっとも、コロナ後の景気回復は、これまでとは異なるニューノーマル化の基で、新しい産業や企業がけん引するなど、オールドエコノミーからの新陳代謝は着実に進むと考えられます。景気敏感セクターもハイテク技術は不可欠であり、グロス株についても幅広い需要の拡大から堅調な推移が期待できそうです。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

#### 【米国の主要株価指数】



#### 【主要セクターの動向】



#### 【スタイル別指数の推移】



(注) データは2020年1月2日～2020年11月24日。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ここも  
チェック!

2020年11月13日 リスク選好が鮮明となった世界の「投信マネー」  
2020年10月29日 米国株式市場～好調な企業業績が下支え

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。